

広報 伊万里



2017
(平成29年)

1 月
January

No. 755 Contents 目次

年頭のごあいさつ	2
特集 交通事故のない社会をめざして	4
インフォメーション・伊万里	8
教育と文化	9
みんなの広場	10
ほがらかページ	12
スポーツ	14
くらしのチャンネル	16
イルミネーション点灯式	20

今月のポイント

あけましておめでとうございます。
2017年(平成29年)がスタートしました。今年が『酉』年です。今号の表紙は、昨年の『広報伊万里』を飾った皆さんの笑顔で干支の文字『酉』を表してみました。どうか今年も市民の皆さんのすばらしい笑顔に会えますように！

この冊子は1部当たり27円で作成しています(人件費など間接経費は含まれていません)。また、企業広告による掲載料は、広報伊万里の作成費の貴重な財源となっています。

あけましておめでとうございます
市民の皆様におかれましては

希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます

昨年は、市民の皆様の安全・安心の確保において、大きな一歩を踏み出すことができ、伊万里市の将来の発展につながる基礎を築いた1年であったと思います。

平成23年3月に発生した福島第一原子力発電所の事故を教訓に取り組んできた玄海原子力発電所に関連する安全協定については、平成28年2月2日に、九州電力株式会社と事前説明などに関する安全協定を、また、佐賀県と事前了解の判断時における本市への配慮などに関する覚書を締結しました。

また、原子力災害や自然災害の発生時において、いち早く情報を伝達するための防災行政無線の整備について、今後2か年での市内全域への設置に着工しました。

松島嶺地区においては、浸水対策として進めてきた馬伏雨水ポンプ場が完成したことにより、土地活用の可能性が広がり、県道の整備と併せて商業地の形成に向けた民間開発が着々と進んでいます。将来の高速交通体系の整備に伴い本市の玄関口となる地区であり、新しいまちの姿を思い描きながら、大きく期待を膨らませています。

国と地方が一体となり、地域の自律的で持続的な社会の創生をめざす地方創生については、人口減少の抑制に向け本格的な取り組みをスタートさせました。

新たに移住・定住促進の専門部署を設置し、市外からの転入者への住宅取得費用や家賃に対する支援をはじめ、本市の豊富な魅力を発信するプロモーション活動の実施、実際に本市での生活を体験できる移住体験住宅の提供など、特に都市部の若者の心に響き、「伊万里に移住したい」と思わせるような仕掛けづくりを進めます。

また、市街地の伊万里まちなか一番館にICTを活用したビジネス創造拠点である「PORTO 3316 IMARI」が誕生しました。若者が、インターネットなどの活用により、多様な能力や創造力を存分に発揮できる多くの新しい「しいと」が、ここから生み出されていくことを期待しています。

は
大きく翔ばたく節目の年に



平成29年 年頭のごあいさつ

伊万里市長 塚部 芳和

さて、平成29年は、本市の文化の振興や産業の発展を支えてきた伊万里港が開港50周年を迎えます。中国・大連市との友好交流30周年とも重なることから、市民の皆様とこの記念すべき年を祝い、次なる50年における伊万里港のさらなる振興とともに、本市が未来に大きく翔ばたくための節目の年にしたいと考えています。

来年度、待望の西九州自動車道の伊万里東インターチェンジ（仮称）が開通し、観光誘客の主要なターゲットである福岡都市圏との移動時間がさらに短縮されます。この貴重なチャンスを本市の成長にしっかりと生かし、観光や産業の振興に努めていきます。

また、若者の定住促進に不足はならない「しごと」づくりについては、若者の就職先としてニーズが高い事務系企業を誘致するためのオフィス・スペースの確保とあわせて、製造業の受け皿となる新たな工業団地の造成にも着手し、優良企業の誘致につなげていきます。

市民生活に必要な機能を集約・確保し住み続けられる地域をめざす「小さな拠点」づくりとして、大川町でコミュニティ運営協議会による地域バスの運行が始まります。これは本市のモデル地区である波多津町に続く取り組みであり、このような成功例の市内他地区への拡大を図るなど、地域のまちづくり活動を積極的に支援します。

市街地においては、多くの飲食店で開催された『伊万里GYU・GYU・バル』など、市外からの来訪者を引き寄せる魅力的なイベントが開催されています。「伊万里を元気にしたい」という思いが、若者の自由な発想と行動力により、形として表れてきていることを大変心強く感じています。

新年を迎え、決意を新たに、伊万里ならではのまちづくりとしての地方創生を市民の皆様と一緒に進めてさらに展開し、本市がめざす「活力あふれ ひとが輝く 安らぎのまち 伊万里」の実現に向け全力を傾注してまいります。

皆様のなお一層のご協力を心からお願いいたします。

伊万里港50年の歴史を礎に、

※背景写真はドローン（小型無人航空機）により撮影

交通事故のない社会をめざして

第10次伊万里市交通安全計画を策定



市では、交通事故のない安全で安心な社会をめざして、さまざまな交通安全対策に取り組んでいます。

しかし、高齢化が進む中で、高齢者が関わる交通事故は依然として多く発生しています。また、交通事故の原因となる悪質なルール違反である飲酒運転は、市民の飲酒運転検挙者が平成22年から3年連続で県内ワースト1となっていました。飲酒運転ゼロに向けた市民総ぐるみでの取り組みにより、平成25年以降は大幅に減少しましたが、いまだその根絶までには至っていません。

このような中、市では、国の交通安全対策基本法に基づき、市内の陸上交通の安全に関する総合的、長期的な施策の大綱として、第10次伊万里市交通安全計画を策定しました。

交通事故をなくすためには、交通情勢の変化を踏まえて、市民一人一人が交通安全意識を高め、安全で快適な交通環境の整備などの対策を進めていく必要があります。

今回の特集では、市の交通事故の現状や、計画に定めた交通安全の取り組みを通じて、交通事故をなくすために私たちに何ができるかを考えます。

● 問合先 総務課行政係 ☎ 232123



交通安全計画とは

第10次伊万里市交通安全計画では、交通安全に対するさまざまな取り組みについて、平成28年度から平成32年度までの5年間の計画を定めています。この計画を基にして、関係機関や団体が相互に連携し、効果的な交通安全対策を進めていくものです。

計画の基本的な考え方

1. 交通事故のない社会をめざして

交通安全の確保は、安全で安心な社会の実現のための重要な要素です。このことから、人命尊重の理念に基づき、究極的には交通事故がない社会をめざします。

2. 人優先の交通安全思想

自動車と比較して弱い立場にある歩行者、高齢者、障害者、子どもなどの交通弱者の安全を確保することが必要です。『人優先』の交通安全思想を基本として、あらゆる施策を推進します。

3. 施策推進にあたって

安全対策には、交通社会を構成する人や、活動する場としての交通環境の2つの要素があります。これらの相互の関係を考慮しながら、適切で効果的な施策を推進します。

道路交通事故の現状と今後の見通し

道路交通事故の現状

市内の交通事故による死者数は、ピーク時の昭和46年には18人でしたが、年々減少し、平成23年から平成27年までの5年間の平均は3.4人となっています【表1】。また、交通事故による死者数のうち、高齢者の割合は5年間の平均で76%となっています【表2】。この5年間の市内で発生した交通事故の大きな特徴は、高齢者が関わる事故が多いということが分かります。

一方で、人身事故発生件数や負傷者数は、平成14年以降、減少傾向にあります。その要因としては、道路環境の整備や交通安全思想の普及徹底など、これまで市を挙げて取り組んできたさまざまな対策が、一定の効果を発揮したものと考えられます。

【表1】市内の交通事故推移

	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	平均
人身事故発生件数	476件	455件	475件	446件	447件	459件
死者数	4人	3人	1人	4人	5人	3.4人
負傷者数	599人	584人	619人	584人	598人	596人

【表2】市内の高齢者の交通事故推移

	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	平均
負傷者数	96人	102人	110人	95人	104人	101人
第一当事者(原因者)	95人	89人	81人	85人	95人	89人
死者数	2人	3人	1人	2人	4人	2.4人
全体における割合	50%	100%	100%	50%	80%	76%

道路交通事故の今後の見通し

県内における平成26年中の人口10万人あたりの人身事故発生件数、負傷者数、死者数は、全国で最も多くなっています。これを受けて現在、

県全体でさまざまな取り組みを行っていることから、今後県内・市内の件数は減少していくものと考えられます。

また、高齢運転者の増加により、今後も交通事故全体に

計画の目標

占める高齢者が関わる事故の割合は、高い状態のままであると予想されます。

交通事故による死者数を限りなくゼロに近づけることが最終的な目標ですが、当面は、死者数を可能な限り減らすことに努めます。年間の死者数を3人以下にすることをめざします。

交通事故をなくすために

交通事故による死者数は減少傾向にある一方で、高齢者人口の増加などにより、年々その減少幅が少なくなっています。また、安全不確認や脇見運転などの安全運転義務違反が原因の事故は依然として多く発生しています。対象を明確にし、実態を踏まえた取り組みを行う必要があります。

重点的な対象と視点

高齢者や子どもの安全確保

高齢者が安全に安心して外出や移動ができるような交通社会づくりが必要です。地域での見守りなど、生活に密着した取り組みが求められます。また、安心して子どもを産み、育てることができるよう、子どもを守る視点からの対策が必要です。

歩行者や自転車の安全確保

自動車と比較して弱い立場にある歩行者にとっては、身近な道路の安全性を高めなければなりません。また、自転

かな対策を効果的に実施します。また、今後も予想されるさまざまな交通情勢の変化を踏まえた取り組みを行います。

地域ぐるみの対策

市民にこれまで以上に積極的に取り組みに参加してもらえるよう、意識の向上を図ります。

また、他の自治体で取り組んでいる交通安全対策などを市の施策の参考にするため、積極的な情報共有を図ります。

取り組みの内容

7つの施策

計画では、目標を達成させるため、7つの施策を柱としています。これらに基づき、さまざまな取り組みを行います。

- ① 道路交通環境の整備
- ② 交通安全思想の普及徹底
- ③ 安全運転の確保
- ④ 車両の安全性の確保
- ⑤ 道路交通秩序の維持
- ⑥ 救助・救急活動の充実
- ⑦ 交通事故被害者の救済など

交通事故が起きにくい環境をつくるために

実態を踏まえた対策

交通事故の発生地域や場所、形態などを分析し、きめ細や

市交通安全協議会

市交通安全協議会は、市内のさまざまな団体などで構成され、主に春・夏・秋・冬の交通安全県民運動に合わせ、交通安全運動を行っています。これらの取り組みを通じて、市民の交通安全意識の向上をめざしています。

平成28年度の主な取り組み

春 交通安全キャンペーンとランドセルカバー贈呈



秋 事故ナシ・飲酒運転ナシキャンペーン



夏 体験de交通安全



in 図書館

冬 飲酒運転撲滅パレード



in 市街地

「地域の安全・安心を守る」

これまでは、計画の概要を紹介してきました。では、具体的にはどのような人や団体がどのような対策に取り組んでいるのでしょうか。交通安全指導員や各町・地区の取り組みを例にみてみましょう。

児童の安全を守る 交通安全指導員



市交通安全指導員会
会長 宗 泉 さん



↑雨の日も児童たちが交差点を安全に渡れるよう誘導する宗さん（右）

昭和42年から交通安全指導員として、児童たちの通学の安全を見守っています。交通安全指導員をはじめ、約50年になります。幸いにも私が指導を行っているとときに事故が起きたことはありません。車社会の発展に伴ってだんだん交通量が多くなっています。交差点に立つて指導をしていると、ほとんどのドライバーは児童に注意を払っています。しかし中には、スピードを出して交差点を通過する車もいて、冷やりとするとときもあります。ちよつとした不注意が事故につながりますので、ドライバーの皆さん、安全運転の心がけをお願いします。

各町・地区の取り組み

各町・地区の交通対策協議会では、区長会や老人会、学校、警察などが一体となって交通安全に取り組んでいます。通学時の交通安全指導や広報活動、交通安全キャンペーンなどを通じて、住民の交通安全意識の向上をめざしています。



敬老会交通安全キャンペーン（立花地区）



大坪保育園交通安全教室（大坪地区）



交通安全パレード（松浦町）



交通安全キャンペーン（大川町）



道の駅「伊万里ふるさと村」事故なし（梨）キャンペーン（南波多町）

交通事故をなくすために

交通事故は、誰もが起こしたくない、遭いたくない出来事です。しかし、ちよつとした油断や不注意によって起こってしまいます。

市では、交通安全キャンペーンや体験イベントなどさまざまな取り組みを行っています。

しかし、交通事故を防止するためには、市民の皆さんの交通安全意識の向上が必要不可欠です。家庭や職場で交通安全について考え、一人一人が交通ルールを守って行動することが大切です。法定速度を守る、車間距離をとる、信号を守る、飲酒をしたら車に乗らないなど、日ごろから交通安全を意識して、交通事故を起こさないよう、慎重な行動をお願いします。



総務課行政係
係長 原 利彦

パブリックコメント (市民意見提出手続制度)

『伊万里市犯罪被害者等支援条例』(案) について

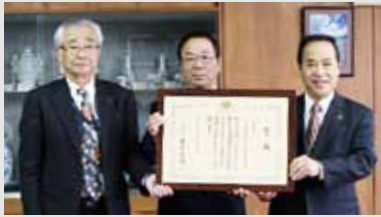
より多くの市民の意見を参考にするため、パブリックコメントを実施します。皆さんの意見をお寄せください。

犯罪被害者やその家族は、犯罪による生命や身体の直接被害だけでなく、精神的、経済的に苦しめられています。さらに、興味本位のうわさや心ない中傷などで名誉を傷つけられたり、平穏な生活が脅かされたりして、二次的な被害を受けることがあります。

そこで市は、犯罪被害者などの支援に関する施策を推進するために、条例を制定することにしました。この条例のもとに、犯罪被害者などが受けた被害の軽減や回復に向けた取り組みを推進し、誰もが安心して暮らすことができる地域社会の実現をめざします。

パブリックコメント案内

- ◆意見提出をお願いする資料
『伊万里市犯罪被害者等支援条例』(案)
- ◆意見募集期間 1月4日(水)～27日(金)
- ◆案の公表先・入手先
(1)人権・同和対策課または情報広報課市民サービス係
(2)各町公民館または市民図書館
(3)市ホームページ <http://www.city.imari.saga.jp/>
- ◆意見の提出方法
意見は、住所・氏名(または団体名)を明記のうえ、次のいずれかの方法により提出してください。
- ①メール jinken-douwa@city.imari.lg.jp
- ②郵便 〒848-8501
伊万里市立花町 1355 番地 1
伊万里市役所 人権・同和対策課 あて
- ③直接提出 案の公表先・入手先(1)または(2)
- ④ファックス ②7650
- ◆問合せ 人権・同和対策課人権・同和対策係
(☎)③2190



↑塚部芳和市長に受賞の喜びを報告する田中茂樹会長(中央)と小杉道久波多津公民館長(左)

波多津町まちづくり運営協議会が『九州農政局長賞』を受賞

波多津町まちづくり運営協議会が、豊かなむらづくり全国表彰事業で九州農政局長賞を受賞し、12月5日、塚部芳和市長に喜びを報告しました。協議会は、地域の課題解決に向けた『波多津町まちづくり計画』に基づき、地域ぐるみで各種事業を展開。農畜産物のPR・販売拠点としての波多津ふれあい広場の整備やカキ焼き小屋の運営、海水を活用した『波浦の塩』の商品開発と販売、あぐり山の環境整備、コミュニティバスの運行のほか、波多津みなと祭りの開催などに取り組んでいます。田中茂樹会長は、「今後も行政に頼らない自立したまちづくりをめざします」と抱負を語りました。

市長雑感

伊万里市長 塚部 芳和

福

年が明けて初めて神社や寺などに参拝する『初詣』では、誰もが熱心に1年の無事と平安などを祈願します。

本来神様は、各家を訪れてその年の福を授け、災難や疫病から守ってくださるといわれています。年末の大掃除は、1年の汚れをまとめて落とすことですが、それだけではありません。新しい年の福をつかさどる年神様を家にお迎えするための大切な準備でもあるのです。年神様が最初に降り立つ場所は門松。しめ縄は年神様を祭るのにふさわしい清浄な場所を示し、鏡餅は年神様へのお供え物だということです。

日本には、古くから自然のものに神が宿るという考え方があります。家の中には、年神様だけでなく火や水の神様、歌にもあるトイレの神様などさまざまな神様がいます。これらの神様の居心地を良くするために

必要な掃除をすることで福を授かり、貧乏神や疫病神を寄せつけないと考えられています。

人間は、本来自助努力が必要ですが、自分の力がどうしても及ばないところに『神頼み』をしたくなるものです。しかし、神様は私たちが一日一日努力する姿を見ておられ、その証しに恩典を与えられるのです。何もなければ、恩典を受けることはできないと思います。

そう考えると、神頼みに偏重せず、自分頼みとすることが肝心です。大掃除をすることで年神様が『福』というお年玉をくださるよう、行動を起こすことで活路が開けるのではないのでしょうか。それは、例えば、『一日一善』でも良いのです。さあ、新しい年が始まりました。一年の計は元旦にありといわれます。自分の目標に向かって計画を立ててみませんか。この1年が市民の皆さんにとって『福』多い年でありませうように。

みんなで
考えよう
人権・同和問題
No. 226

このコーナーでは、隔月のシリーズで掲載
しています。これを手がかりに、家庭で人権・
同和問題について話し合ってみましょう。

『良妻賢母』と『良夫賢父』

『良妻賢母』という言葉に対して、『良夫賢父』という言葉はありません。なぜでしょうか。

男女雇用機会均等法の施行から約30年が経過し、男性の育児・介護休業の取得促進や、女性リーダーの増員など、さまざまな取り組みを行う企業が増えてきました。しかし、世界各国の男女格差指数を測る調査によると、日本の男女平等ランキングは144か国中111位となっています。これは、女性の政治・経済活

動への参加が、他国に比べて少ないことが要因です。

最近では、家事をする男性が増えてきたと感じます。しかし、総務省の生活基本調査によると、九州・山口地域では、夫が家事・育児をする時間は1日平均62分と全国平均より5分短く、妻の約7分の1しかありません。

女性の理想像として、本来は良い意味で使われていた『良妻賢母』ですが、最近では『女性を家事と育児のみに専念させる、ちよつと古めかしい言葉』と思われることも

あります。しかし、現代の『良妻、賢い母』とは、『家庭を居心地よく整え、家族も自分も幸せになる女性』のことではないでしょうか。周りに対する細やかな配慮ができ、相手に対する感謝と尊敬を忘れず、しかも自分にとつてあまり無理をしない。そのように

考えると、良妻賢母の役割は、男性も担うことができます。それは、まさに『良夫賢父』です。良妻賢母や良夫賢父は、自分が輝き、相手も輝かせます。そのような人材が、社会でも必要とされるのではないのでしょうか。

新しい年が始まりました。今年はあるあなたも『現代の良妻賢母・良夫賢父』をめざしてみませんか。

地域連携講座『ワーク・ライフ・バランス講演会』

12月2日、市民図書館で、地域連携講座『ワーク・ライフ・バランス講演会』が開催されました。これは、『市男女協働参画を推進する条例』を平成28年4月に施行したことを記念して、市が佐賀大学と連携して行ったものです。

講演では、原めぐみさん



↑『『まあいいか』というお原さんかさも必要』と話す原さん

のかを常に考え、自分の気持ちに正直に生きることが大切」と訴えました。

郷土の文化財

腰岳と黒曜石シリーズ⑩

腰岳を見直す、腰岳の新たな姿

● 問合先 生涯学習課文化財係

(☎) 233186

腰岳の黒曜石について、9回にわたって紹介してきましたが、腰岳は市民に慣れ親しんだ山の一つだと思えます。特に伊万里湾側から見ると、円すい形の美しい姿をしており、カプトガ二産卵地周辺からは、『伊万里富士』や『松浦富士』の名にふさわしい姿を眺めることができます。

とを解説してきました。その特異性や歴史を改めて確認すると、今まで見ていたもの、知っていたものとは、また違った見方ができるのではないのでしょうか。

伊万里には、特異な歴史価値を秘めた文化財がまだまだ数多くあります。

黒曜石を求めた古代の人たちの中には、船を操って伊万里に来た人たちもいたと思われる。その人たちは、伊万里湾の奥へ奥へと船を進め、最後に雄大にそびえる腰岳を見て、ようやく目的地に到達したことを実感したのではないのでしょうか。



↑カプトガ二産卵地周辺から眺めた腰岳



みんなの広場

↓見応えがある激しい取り組みの連続に、観客も思わず息を飲んでいました。



12.4



赤ちゃんの取り上げ式



伊万里清甚会による相撲甚句

地 猿田彦大神奉納『申相撲大会』
区の誇りをかけた真剣勝負

二里町中里地区で12年に1度行われる『申相撲大会』が、作井手公民館裏に設置された野外相撲場でありました。神事や小学生の紅白試合奉納、申年生まれの子どもの取り上げ式のあと、消防団対抗リーグ試合や各地区対抗リーグ試合を開催。しだいに雨足が強まり、団体戦の決勝トーナメントと個人戦は中止となりましたが、地元の『力士』による迫力ある多彩な取組が次々と繰り広げられ、集まった観客は喝采を送っていました。

火 神原八幡宮『取り追う祭り』
の粉舞う勇壮な伝統行事

二里町大里地区に継承される神事『取り追う祭り』が、神原八幡宮でありました。毎年12月最初の卯の日の前夜に行われ、もち米を握った『御供さん』をめぐる攻め手と守り手が激しい攻防を展開。演芸場には火の粉の雨が降り注ぎ、威勢がいい掛け声が響き渡りました。攻め手が御供さんを奪うと、観客などにふるまわれ、無病息災を祈りました。



12.10

↑竹を束ねて作った松明を打ち付け、火の粉を浴びせる守り手

↓大川内山を通る秘窯の里・鍋島コース(約12km)を歩く参加者



11.23

歩 魅力あふれる 夢のまち・伊万里ウオーク2016
歩いて巡る、伊万里の秋

市内のさまざまな名所を歩いて巡る『伊万里ウオーク2016』がありました。市内外から500人が参加し、それぞれ伊万里湾岸・大川内山・市街地を通る3つのコースに分かれて、晩秋の風景などを楽しみました。ゴール後には、温かいだご汁がふるまわれたほか、伊万里牛などの特産品が当たる抽選会も行われ、参加者は爽やかな秋のひとときを過ごしました。

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所情報広報課広報係までご連絡ください。(☎23 43 13 広報係直通)

家々 明治時代から受け継がれる伝統行事『頭わたし』 に福と笑顔をお届けます

大坪町古賀地区で、氏神様『今岳大権現』の分霊を1年間世話する当番(頭)の引き継ぎ式『頭わたし』がありました。『頭』は地区の14班が輪番で担当。分霊を預かる家には福が来るとされています。今回の当番班がくじを引いてそれぞれの役割が決まると、顔を墨でくま取りし、大権現や神主、ほら貝吹きなどの衣装をまとって地区を巡行しました。



↑顔をくま取りし、地区内の巡行に出かける今年の世界役たち

↓『生まれてくることは当たり前じゃない』と話す柴田さん



誰 ハートフルフォーラム2016 in 伊万里 もが自分らしく生きるために

市民センターで、『ハートフルフォーラム2016 in 伊万里』がありました。伊万里農林高校の生徒会が企画・運営に参加し、司会進行や意見発表、紙芝居上演などを担当。講演会では、柴田眞祐(しまたまゆ)さん(大分県佐伯市職員)が、自身の経験などをもとに命の大切さを訴えました。また人権コンサートも行われ、来場者は人権問題への理解を深めていました。

↓観客を魅了した伊万里吹奏楽団(平成28年5月結成)の演奏



ふる 第25回市民音楽祭～ふるさとの明日を歌おう～ ふるさとへの思いを音楽にのせて

市民センターで市民音楽祭が開催されました。当日は、今回初出場の伊万里吹奏楽団の華やかな演奏でスタート。市内で活動する16団体236人が、吹奏楽やバイオリン、箏、ハーモニカなど多彩な演奏や歌を披露しました。最後は、伊万里中学校吹奏楽部の伴奏で、出演者と観客が『伊万里讃歌』を合唱。美しい歌声が会場に響き渡りました。

大 市防災訓練 規模な地震の発生に備えて

市内に震度6強の地震が発生したとの想定で市防災訓練がありました。黒川公民館では、住民や警察、自衛隊などの関係機関が参加し、外国人・高齢者の避難訓練や、エコノミークラス症候群の予防訓練などを実施。ドローン(小型無人航空機)を活用した現地合同対策本部訓練も初めて行われ、関係機関の相互の協力体制を確認しました。



↑ドローンの映像を基に指示を出す塚部芳和市長(中央)

ほががららが ページ

百寿メダル贈呈 いつまでも お元気で

めでたく百歳の誕生日を迎えられた浦山光次さんを、12月15日、塚部芳和市長が訪問し、記念のメダルを贈呈しました。

光次さんは、主に、子牛の育成・販売や木炭作り、米作りをして生計を立てていたそうです。優しい性格で、日課は自分が飼っている小鳥の世



話。光次さんが鳥かごから離れると、しきりに鳴きながら戻られるのを待っていました。少し前まで、寒蘭が趣味だったという光次さん。寒蘭好きの仲間と各地で開かれる展示会に行ったり、自分が育てたものを出品したりしていました。多いときには、300鉢ほど育てていたそうです。また、甘い物が好きで、食事のあとに羊かんや饅頭などをいただくことがあるとか。そんな光次さんの長生きの秘訣は、『3回の食事をしっかりとること』、また、『お酒は飲まないこと』だそうです。この日、塚部市長にメダルをかけてもらうと、笑顔で喜びと感謝の気持ちを伝えておられました。

商店街と中学生・高校生がコラボレーション

『スクールチャレンジ交流館』が開館

伊万里中学校と市内4つの高校が、駅通商店街の空き店舗などを活用して『スクールチャレンジ交流館』を開きました。これは、伊万里駅通商店街振興組合が、子どもたちに就業体験の場を提供すると



↑伊万里商業高校の自信作『伊万里焼きカレー』



↑伊万里中学校生徒が作成した商品を購入する来館者(右)と笑顔で交流する生徒

ともに、市街地や商店街に心を持ってもらおうと、毎年取り組んでいるものです。11月11日～17日に伊万里商業高校が、19・20日に伊万里中学校が、12月6日～11日に敬徳高校が、22・23日に伊万里農林高校が(伊万里高校は



↑ガソリン1ℓで116キロ走るという敬徳高校生徒が製作したエコカー「敬徳3号」

12月27日～1月9日、それぞれ担当。自分たちの作品を展示したり、活動を紹介したりするなど、各校の特徴を生かしたアイデア満載の店を開きました。生徒たちは、来館者をもてなしながら、交流を深めていました。また、館内では、駅通商店街振興組合による抽選会も行われ、期間中、訪れた人々にぎわいを見せていました。

四季の詩

墨の香に 豊かな刻や 幸始

新玉の 春の朝日の すがすがし

光あまねくこの年を祝ぐ

南嶽



伊万里白濁短歌会 中西

信行

みんなで広げよう『食のまちづくりの輪』

市は、食のまちづくり宣言を行い、事業者や皆さんと協働で、『食』を生かしたまちづくりに取り組んでいます。このコーナーでは、市内保育園などで取り組んでいる食育活動を紹介します。

● 問合先 まちづくり課まちづくり推進係 (☎2114)

食育活動を紹介

～ 波多津保育園 ～

自然豊かな海からの贈り物

塩作り体験を通して学んだこと

波多津保育園は、目の前にいろは島が浮かぶ伊万里湾が見え、海と山に囲まれた自然豊かな土地にあります。自然の恵みを受け、地元で取れた豊かな食材で作られた給食を毎日食べ、子どもたちはすくすくと成長しています。



完成した塩を袋に詰めています



塩がどうやって出来るかを知ることができました

11月24日の『和食の日』に、うどんの生地作りとだしの味比べを行いました。そのときに使った食材の生産現場を見るため、11月30日に園の年長児全員で波多津町の特産品であるいりこの工場と、『波浦の塩』が作られている波多津ふれあい広場を見学。塩作りの工場では、大きな釜で大量の塩水がぐつぐつと煮られていました。子どもたちは出来上がった塩の袋詰め体験をし、日頃食べている塩がどのようにして出来るのかを知ることができました。この塩作り体験がきっかけとなり、日常の食を知るというだけでなく、地元の豊かさに気付くことができました。

食育ワンポイント

塩の知られざる効能 新年を迎え、大人の方は飲酒の機会も多いと思います。飲み過ぎによる二日酔いは、肝臓がアルコールを分解できず、体にとって有害な物質『アセトアルデヒド』が体内に蓄積されることが原因です。そんなときは熱いお茶に塩を入れて飲んでみてください。塩茶が肝臓の働きを助けてくれ、二日酔いを早く解消してくれます。

伊万里の

やんじ・ウオーカー

なりどみ

成富 恵理奈 さん

(24歳・中井樋)

- ◆九州労働金庫伊万里支店(新天町)
- ◆平成23年4月入社



- ◇どんな仕事をしていますか
お客様の職場を訪問するなどの渉外活動をしています
- ◇仕事で大変なことは
金融商品や社会経済の知識を身に付ける勉強です
- ◇仕事で心掛けていることは
相談しやすい環境づくりです
- ◇目標(仕事)は
働く皆さんの生活のサポートができればと思います
- ◇自己PRをどうぞ
笑顔と根性で頑張っています
- ◇趣味・特技 トロンボーンとホルンの演奏です
- ◇市民へ一言 4月に伊万里市民になりました。これからよろしくお願ひします

わが家の

アルバム

ことこ
野田 琴子さん (2歳9か月)

- ★まこと
★亮・宏美さんの長女
- ★柳井町



上の2人が男の子なので、私にとつての癒やしです♡たくさん幸せをありがとう♪みんなことちゃんが好きです(^^)

おかあさんからひとこと



わたしはいつも焼きそば屋さんやアイス屋さん♡♡♡を遊んでるよ♪最近はおんぱんに夢中で特にバタコさんが大好き♡おとなしく見られるけど、家ではお兄ちゃんたちとけんかをするのもあるんだよ☆



第63回市内一周駅伝競走大会

黒川町が5年ぶり2回目の優勝

→これまでの区間記録を48秒短縮する新記録を樹立した大坪町3区・坂取健斗選手



平成28年11月27日、市内13町・地区の代表選手たちが全12区間、60・3kmのコースで健脚を競う市内一周駅伝競走大会が開催されました。

午前8時45分、浦ノ崎駅前を一齐にスタート。レースの序盤は立花地区、二里町、大坪町と区間ごとに首位が入れ替わ

る激しい展開となりました。中盤に差し掛かると、序盤出遅れた黒川町が4区から6区の3連続区間賞の走りで一気に巻き返りに成功。10区と12区でも区間賞を獲得するなど、安定したレース運びで5年ぶり2度目の優勝を果たしました。2位争いは、大会3連覇中の立花地区と大坪町が激しいデッドヒートを展開。全体で13秒という僅差で大坪町が競り勝ち、昨年より順位を2つ上げて2位となりました。

沿道には多くの市民が駆けつけ、地区の誇りを背負って走る選手たちに温かい声援を送りました。

→優勝した黒川町チーム



→黒川町9区の弟・坂口剛治選手(中央左)から、兄・坂口豊選手(中央右)への兄弟リレー



1月の町民スポーツ

1日(日・祝)

- 牧島地区新春歩こう会
午前8時開会 牧島地区内
- 東山代町新春走ろう歩こう会
午前8時開会 東山代町内

22日(日)

- 二里町子ども会アジャタ大会
午前9時開会 二里小学校

29日(日)

- 伊万里地区卓球大会
午前9時30分開会 啓成中学校

1月の市民スポーツ

9日(月・祝)

- 伊万里ハーフマラソン2017
夢生橋付近・伊万里商業高校前(スタート地点)～市街地、伊万里湾周辺
《各種目のスタート時刻》
▷ハーフの部：午前10時
▷10kmの部：午前10時
▷3kmの部：午前10時20分

22日(日)

- 市教育長杯小学生スポーツ・チャレンジ・ゲーム
午前8時30分開会 立花小学校

2月5日(日)

- 市長杯バスケットボール大会
午前8時30分開会 国見台体育館

大会成績

※記録の赤字は新記録

総合順位	町(地区)名	記録	区間賞	氏名	記録
優勝	黒川	3:32:50	1区(3.3km)	松尾 茂信(立花)	11:18
2位	大坪	3:40:11	2区(4.6km)	八島 康祐(二里)	16:37
3位	立花	3:40:24	3区(5.3km)	坂取 健斗(大坪)	17:45
4位	二里	3:41:04	4区(1.7km)	山口 遥(黒川)	06:02
5位	山代	3:41:42	5区(6.0km)	小島 和希(黒川)	20:39
6位	大川	3:42:28	6区(6.6km)	佐々木隆文(黒川)	22:46
7位	東山代	3:44:09	7区(4.9km)	杉本 賢治(大川)	18:51
8位	伊万里	3:48:59	8区(7.7km)	古賀 隆徳(山代)	25:06
9位	南波多	3:50:08	9区(7.1km)	牧瀬 圭斗(山代)	21:58
10位	松浦	3:57:46	10区(5.6km)	坂口 豊(黒川)	18:57
11位	波多津	3:58:41	11区(4.9km)	加川 英文(南波多)	16:33
12位	大川内	3:59:13	12区(2.6km)	中島 一成(黒川)	08:25
13位	牧島	4:03:25	躍進賞	南波多(前大会から3分21秒短縮)	

郡市対抗県内一周駅伝 伊万里市チームに ユニホームを寄贈

松永一広さん(山代町)が、12月5日、市役所を訪れ、郡市対抗県内一周駅伝の伊万里市チームにユニホーム(上下セット)25着と応援用のぼり旗5セットを寄贈しました。松永さんは、「このユニホームを着てすばらしい走りをして、



↑ユニホームを手にする松永さん(右)と塚部芳和市長

市民に感動を与えてほしい」と期待の気持ち話を話していました。

平成28年度市体育協会 体育功労者表彰・スポーツ賞 県民体育大会功労賞

市のスポーツ振興に顕著な功績があった人に贈る『体育功労者表彰』、『スポーツ賞』、『県民体育大会功労賞』の表彰式が、平成28年11月27日、市役所でありました。受賞者は次のとおりです。(順不同、敬称略)

《体育功労者表彰》

- ◇梅村 博昭 (南波多町体育協会)
- ◇吉田 正男 (市バレーボール協会)
- ◇杉谷 文治 (市スポーツ推進委員協議会)

《スポーツ賞》

- ◇宮本 麻羽 (水泳)
- ◇百田 成寿 (水泳)
- ◇塚本 千愛 (水泳)
- ◇岩永 吉平 (水泳)
- ◇寺川 琉之介 (水泳)
- ◇柳本 幸之介 (水泳)
- ◇力武 颯也 (テニス)
- ◇国見中学校テニス部
- ◇伊万里農林高等学校カヌー部男子
- ◇伊万里農林高等学校カヌー部女子
- ◇伊万里商業高等学校ホッケー部男子
- ◇伊万里商業高等学校ホッケー部女子
- ◇敬徳高等学校剣道部

《県民体育大会功労賞》

- ◇宮地耕太郎 (水泳 25歳男子背泳ぎ)
- ◇脇山まりも (水泳 25歳女子自由形、25歳女子バタフライ)
- ◇仁戸田 彩 (水泳 25歳女子バタフライ)
- ◇吉崎 雅樹 (陸上 走り幅跳び)
- ◇尾崎 隆之 (陸上 男子砲丸投)
- ◇伊万里A (陸上 一般女子400歳リレー)
- ◇陸上競技一般男子 (市の部)
- ◇陸上競技一般女子 (市の部)
- ◇バレーボール一般男子 (市の部)
- ◇バレーボール一般女子 (市の部)
- ◇軟式野球一般B
- ◇ソフトボール一般男子A (市の部)



↑ 体育功労者表彰を受ける梅村博昭さん (左)



- 期 日 平成28年12月4日
- 会 場 国見台陸上競技場
- 参加数 ロードレースの部: 231人 / 駅伝の部: 男子23チーム、女子17チーム

ロードレース 男子1~3年の部 (1.5 ^{キロ})				ロードレース 女子1~3年の部 (1.5 ^{キロ})			
順位	氏名	所属	記録	順位	氏名	所属	記録
1位	福川 雅也	青嶺陸上クラブ	6:08	1位	馬崎 望喜	伊万里三香クラブ	6:26
2位	井本 楓雅	納所ランニングクラブ	6:15	2位	宮崎 ひな	納所ランニングクラブ	6:30
3位	野邊田海晴	若木少年野球	6:20	3位	山本 羽鳳	川副陸上	6:30
ロードレース 男子4~6年の部 (2 ^{キロ})				ロードレース 女子4~6年の部 (2 ^{キロ})			
順位	氏名	所属	記録	順位	氏名	所属	記録
1位	大川内健太	IRRC	7:26	1位	荒木 万理	大浦小学校	7:55
2位	古川 舜	山代東球友会	7:34	2位	前田 優夏	ブラックリバー	7:59
3位	崎田 春輝	ブラックリバー	7:34	3位	土田彩友美	吉田球友	8:02
駅伝 男子の部 (10 ^{キロ})				駅伝 女子の部 (5.9 ^{キロ})			
順位	チーム名	記録		順位	チーム名	記録	
優勝	伊万里三香クラブA	36:11		優勝	伊万里三香クラブA	23:15	
2位	吉田球友	36:17		2位	納所ランニングクラブ	23:53	
3位	納所ランニングクラブ	37:13		3位	IRRC-A	24:09	
区 間 賞				区 間 賞			
区 間	氏名	所属	記録	区 間	氏名	所属	記録
1区 (2.0 ^{キロ})	佐熊 光晟	吉田球友	6:59	1区 (1.5 ^{キロ})	堀田 佳奈	伊万里三香クラブA	5:38
2区 (1.6 ^{キロ})	井本 颯太	納所ランニングクラブ	5:42	2区 (1.1 ^{キロ})	小林結衣奈	江北ピッキーズA	4:25
3区 (1.6 ^{キロ})	松尾 侑輔	伊万里三香クラブA	5:31	3区 (1.1 ^{キロ})	古川 愛子	伊万里三香クラブA	4:14
4区 (1.6 ^{キロ})	小林 浩都	江北ピッキーズA	5:53	4区 (1.1 ^{キロ})	宮崎 心菜	納所ランニングクラブ	4:26
5区 (1.6 ^{キロ})	徳永 樹一	伊万里三香クラブA	5:54	5区 (1.1 ^{キロ})	井上 絢佳	納所ランニングクラブ	4:15
6区 (1.6 ^{キロ})	古川 莉玖	吉田球友	5:32				

※ 順位は着順

- ▽ 3位 大久保 (東山代町)
- ▽ 2位 立花台 (立花町)
- ▽ 優勝 真手野 (黒川町)

● 期 日 平成28年12月1日
● 場 所 国見台陸上競技場

第23回市ゲートボール協会 杯争奪ゲートボール大会

- ▽ 3位 青嶺中学校
- ▽ 準優勝 南波多中学校
- ▽ 優勝 山代中学校

【市内の学校の上位成績】

● 期 日 平成28年11月26日・12月4日
● 場 所 国見台野球場・赤坂球場 (有田町)
※ 赤坂球場は11月26日のみ

第10回古伊万里ライオンズ クラブ旗争奪中学生野球大会

お知らせ

固定資産税の 償却資産の申告を

事業用の償却資産を所有している人は、**1月31日(火)**までに税務課固定資産税係に申告してください。なお、国税(法人税、所得税)の確定申告とは異なります。

◆償却資産とは
土地と家屋以外の事業用資産のことで、毎年1月1日現在で、会社や個人が事業のために所有している構築物や機械、器具、備品などをいいます。

◆注意

農作業で使用するトラクターや田植え機などのうち、次の①②の条件を満たすものは、**農耕作業用小型特殊自動車**に該当するため、償却資産の対象とはなりません。

- ① 乗用装置があるもの
- ② 最高速度が時速35km未満であるもの

※農耕作業用小型特殊自動車は、償却資産の申告から除外するとともに、軽自動車税の申告を行い、標識(ナンバー)の交付を受けてください。なお、公道を走らない場合でも、課税対象となりますので、必ず標識の交付を受けてください。

◆電子申告サービスについて

給与支払報告書などの提出や法人市民税の申告、固定資産税の償却資産の申告については、地方税の総合窓口「eLTAX」による電子申告サービスを導入しています。

※詳細は、eLTAXのホームページ <http://www.eltax.jp> をご覧ください。

● 増減があった人は、その資料を添付してください。

● 問合せ
▽ 償却資産について
税務課固定資産税係
(☎2149)

▽ 軽自動車税について
税務課市民税係
(☎2148)

都市計画用途地域 変更原案の説明・公聴会

◆用途地域の変更

●変更箇所

- ▽ 立花町字小敷山の一部
- ▽ 黒川町塩屋字浜開の一部
- ▽ 黒川町小黒川字裏新田および東ノ久保の一部

◆変更原案の閲覧

●期間

1月5日(木)～18日(水)
午前8時30分～午後5時15分

※土・日曜日、祝日は除く

●場所 都市政策課

◆説明会

◇立花地区

●日時 1月12日(木)
午後7時

●場所 大川内公民館

●日時 1月11日(水)
午後7時

◇黒川地区

●日時 1月27日(金)
午後7時

●場所 黒川公民館

◆公聴会

◇立花地区

●日時 1月26日(木)
午後7時

●場所 大川内公民館

◇黒川地区

●日時 1月26日(木)
午後7時

●場所 黒川公民館

◆公聴会での意見陳述

意見陳述を希望する人は、都市政策課または説明会の場所に備え付けている所定の様式に、意見の要旨と理由(800字程度)などを記入して提出してください。

●提出期限

1月18日(水)

※詳細は、市ホームページで確認してください。

●提出・問合せ

都市政策課都市計画係
(☎2476)

子育て支援センターに 遊びにきませんか

子育ての悩みや相談を受けています。一人で悩まず気軽に相談してください。

①わくわく広場(申込不要)

就園前の乳幼児とその保護者を対象に親子のつどいの場を提供しています。

▷日時 月・火・木・金曜日
午前10時～午後3時

▷場所 子育て支援センターぼっぼ

②お誕生会(要申込)

1月生まれの乳幼児とその保護者が対象です。

▷日時 1月25日(水)
午前10時30分～正午

▷場所 子育て支援センターぼっぼ

●申込・問合せ先

子育て支援センターぼっぼ
(☎25197)



広告

お正月菓子

干支菓子 180円+税
黄みあんが入ったしっとり生地にはホワイトチョコをコーティング。

初春 180円+税
黄みあんのソフトな生地には梅を入れて焼き上げました。

開運福宝 180円+税
「伊万里三笠」に栗を丸ごと入れました。

華舞 180円+税
抹茶あんのに刻んだ栗が入った三笠焼。

西もなか 干支最中 150円+税

福 120円+税
街道正月 Ver.

お年賀ギフト

2,600円+税
1,200円+税
2,000円+税

パチお正月ギフト
お年玉としても人気です!

伊万里 菓子舗
城月堂
☎0955-22-5813
伊万里市新天町 475-12
年末年始の営業について
1月1日のお休み それ以外は通常営業
営業時間 9時～19時

無料特設人権相談

●受付内容

▽家庭内や近隣とのめめごと、女性や子ども、高齢者への虐待、差別などの人権問題
▽相続や不動産、借地・借家、金銭貸借を巡るトラブルなどのさまざまな問題

●日時 1月11日(水)

午前10時～午後3時

●場所・担当

▽二里公民館
人権擁護委員 福地佳野さん、井之一行さん

▽東山代公民館

人権擁護委員 武藤勝治さん、山本和良さん

●問合先 佐賀地方方法務局伊万里支局 (☎22492)

ぼしゅつ

初級中国語教室

●日程

▽昼の部(全24回)
2月15日(水)開講
午後2時30分～4時
(毎週水曜日)

▽夜の部(全24回)

2月14日(火)開講
午後6時30分～8時
(毎週火曜日)

●場所 市民センター

●講師 李瑩さん

●対象 中国大連市公務研修生

●募集人数 各部30人(先着順)

●対象 中学生以上

●募集人数

婚活イベント

こいのき 三社参りは恋木神社に出かけよう

- 日時 1月22日(日) 午前9時30分～午後6時
- ※詳細は、後日参加者のみに案内
- 対象 市内在住・在勤、または結婚を機に伊万里市に住む意思がある20歳以上の独身の人
- 参加料 無料(ただし、食事代、保険料として3,500円が必要)
- 応募方法 メールまたは電話
- 募集人数 男・女各16人
- ※応募多数の場合は、抽選
- 募集期限 1月12日(木)
- 応募・問合先 移住・定住・婚活応援課内 市婚活応援推進協議会 (☎☎2950)
- ※メールアドレス deai@city.imari.saga.jp

●受講料 月額2000円

※別途、教材費2000円程度(初回のみ)が必要です。

●募集期間

1月10日(火)～2月1日(水)

●応募・問合先

国際戦略室内 市国際交流協会事務局 (☎☎27046)

伊万里の野鳥探検隊

伊万里湾の水辺に生息するツルや野鳥の観察を通して、私たちの暮らしを見つめませんか。

●日時

1月29日(日) 午前9時～11時50分

●場所

東山代町長浜干拓地周辺

※集合場所は東山代公民館(徒歩で現地へ移動)

●指導

日本野鳥の会佐賀県支部ほか

●対象

市内小・中学生とその保護者

●募集人数

10組(先着順)

●参加料

1人50円(保険料など)

●応募方法

電話か、市内各小・中学校や各町公民館に備え付けの申込書に記入し、郵送かファックス、または直接持参してください。

●募集期間

1月4日(水)～19日(木)

●応募・問合先

〒848-0045 松島町73-1 歴史民俗資料館 (☎☎27107、FAX☎27900)

農地借り入れ希望者(農地中間管理事業)

佐賀県農業公社の「農地中間管理事業」を活用して、農地の借り入れ希望者を募集します。 ※農地中間管理事業とは、農業公社が所有者から農地をいったん借り受け、農家などに貸し付ける事業です。

●対象

経営規模の拡大、農地の集約・集積化を図る担い手農家など

●募集期間(第4回)

1月4日(水)～3月24日(金)

●応募方法

農業委員会に備え付けの申出書に必要事項を記入して提出

※農地の貸し付けに関する相談や申し出も随時受け付けます。

●応募・問合先

市農業委員会事務局 (☎☎22502)

伊万里立花の杜③ ご見学予約お待ちしております (1月5日から営業しています!)

月々のお支払い例 **60,417円**

仕様: オール電化・エコキュート付き、全室照明付き、浴室乾燥機付き、植栽付き、タンクレストイレ、鏡面収納、食洗機付き、対面キッチン、建物10年保証、地盤20年保証、シロアリ10年保証、すまい給付金対応住宅

シャープな洗練された印象の外観デザインです。物件QR →

伊万里市立花町
土地面積: 228.73㎡(69.19坪)
建物面積: 105.97㎡(32.05坪)
間取り: 4LDK+WIC
築年月: 平成28年11月完成
駐車: 4台
構造: 木造2階建て
土地建物価格: 2250万円

リビング14 洋室9 洋室7 ロフト 洋室7 WIC

本年もよろしくお願ひ致します

株式会社アルファホーム(仲介)
tel. 0952-82-3620
杵島郡大町町大字福母1578-1
MAIL: office2@alpha2001.jp
URL: http://www.alpha2001.jp
佐賀県知事免許(3)第2166号
(公社)全日本不動産協会佐賀本部
(公社)不動産保証協会佐賀県本部会員
2250万円借入、ろうさん、35年払い、10年固定、金利0.70%、平成28年12月時点計算
広告有効期限: 平成29年1月末

国際アマチュア陶芸展 伊万里 2017 作品募集

情熱と創造性に富んだあなたの作品をお待ちしています

- 受付期間
2月1日(水)～28日(火)
午前9時～午後5時
- 作品搬入先
伊万里・有田焼伝統産業会館
※市役所には搬入・送付しないでください。
- 出展料
▷一般の部 1,000円
▷子どもの部(中学生以下) 無料
※日本在住かつ日本国籍以外の出展者は無料
- 主な表彰
▷一般の部 鍋島大賞1人(副賞10万円)、優秀賞1人(副賞5万円)、特別賞1人(副賞2万円)
▷子どもの部 優秀賞1人(記念品)、特別賞2人(記念品)
- 問合せ先 観光課観光戦略室内 国際アマチュア陶芸展
伊万里実行委員会事務局 (☎☎9031)



2016 鍋島大賞の作品
『紙風船の玉手箱』

ぼしゅつ

ファミリーサポート 提供会

- 対象 子育てに関心がある人で、子育ての経験や保育士の資格を持つ人
- ◆登録講習会
日時
▽2月8日(水)
午前9時40分～午後4時
▽2月9日(木)
午前9時～午後4時15分
- 内容 子どもの心身の発達や食生活について、緊急時の応急処置など
- ▽実習 市内保育園
- 受講料 無料
- 募集人数 10人程度
- 募集期限 1月25日(水)
- 応募・問合せ先
子育て支援センターぼしゅつ (☎☎5197)

就活マナー講座

- 日時
1月10日(火)
午後1時15分～2時30分
- 場所
ハローワーク伊万里
- 内容
敬語やあいさつ、電話応対、面接マナー、訪問マナーなど
- 対象
45歳未満の求職者・在職者・学生
- 受講料 無料
- 募集人数 5人
- 講座の前後に個別相談あり
- 申込・問合せ先
ジョブカフェSAGA (☎0952271870)

有田工業高校 定時制聴講生

- 対象
陶磁器やデザイン業界に従事を希望する社会人
- 募集コース・人数
▽窯業コース 7人
▽デザインコース 7人
- 修了年限 2年
- ※聴講は、週3日(午後5時45分～9時10分、開講日は未定)

太極拳教室

- 出願書類配布開始日
1月11日(水)
- ※ホームページからダウンロードすることもできます。
- 出願期間
1月11日(水)～2月3日(金)
- ※受付時間は午後2時～9時
- 面接日時
2月21日(火) 午後6時
- 出願書類配布・出願・問合せ先
有田工業高等学校定時制 (☎423136)
- 期日(全8回)
2月3日(金)～28日(火)の火・金曜日
- 時間・場所
▽昼コース 午後2時～3時 伊万里公民館
▽夜コース 午後7時～8時 立花公民館
- 参加料 1000円
- ※スポーツ傷害保険料を含みます。
- 募集人数 各コース30人
- 応募方法 電話
- 募集期限 1月28日(土)
- 応募・問合せ先
市武術太極拳連盟・小島 (☎090-9079-6077)

地域に密着した新感覚情報アプリ muchu! (むちゅつ)

無料、アプリのダウンロードはこちら!

伊万里・有田・武雄地区のスーパーのチラシを
見ることができるようになりました!!

- 地域の情報がもりだくさん
- プッシュ通知機能で情報をタイムリーに配信
- 便利な機能でライフスタイルが充実



1月号は「イケメン特集」

あなたのイチ推し
イケメンさんに
投票お願いします

1位のイケメンさんに投票された方の中から抽選で「1位になったお店で使える1,000円分の商品券を5名様」にプレゼント!

アプリ限定のお得なクーポンもあるよ!

1月の行事

市民センター ☎②3911

- 伊万里市消防出初式
8日(日)午前9時35分開演
(☎②2119)
- 佐賀県芸術文化賞等表彰式・県民文化フォーラム
22日(日)午後1時30分開式
(☎050-3432-9684)

市民会館 ☎②7105

- 伊万里市成人式
8日(日)午後2時開式(☎②3186)

市民図書館 ☎②4646

- かるた会〔図書館ホール〕
15日(日)午前10時～12時30分
 - 子どもミニ上映会〔のぼりがまのおへや〕
15日(日)午後2時30分～3時45分
『シンデレラ』(2009年、日本、74分)
 - 木版画絵本『ヤマネコ毛布』(山福朱美/作画)原画展〔展示コーナー〕
5日(木)～20日(金)
※20日(金)は正午まで
- ※変更する場合があります。
※催し物はすべて無料です。

- 1月の休館日
1～3日(年始休館)、9日、16日、23日、30日、26日(館内整理休館)

1月の市民相談

相談窓口名	開設日	開設時間	開設場所	問合せ先
法律相談 ※要予約	第2・4水曜日 (11日・25日)	午前10時～ 午後3時	市民相談 コーナー	情報広報課 市民サービス係 ☎②2133
司法書士相談 ※要予約	第1木曜日 (5日)	午前10時～ 正午		
公証人相談 ※要予約	第3木曜日 (19日)	午前10時～ 午後3時		
人権相談	第2・3火曜日 (10日・17日)	午前10時～ 正午		
消費生活相談	月～金曜日 ※祝日、3日は 除く	午前10時～ 午後4時 ※正午～午後 1時は除く		
行政相談	第3金曜日 (20日)	午前9時～ 正午		
不動産相談	第2木曜日 (12日)	午前10時～ 午後3時	税務課	税務課 ☎②2152
家計相談 (ファイナンシャル プランナー相談) ※要予約	第2金・第4日曜日 (13日・22日)	午前9時～ 午後4時		
年金相談 ※要予約	金曜日	午前9時30分～ 午後3時30分	面接室	唐津年金事 務所 0955 725161
身障者相談	第4木曜日 (26日)	午前10時～ 午後3時	面接室	福祉課社会 福祉係 ☎②2156
心の健康相談	月・火・木・金曜日 ※祝日、3日は除く	午前9時～ 午後3時30分	福祉課社会 福祉係	



- 女性相談 相談電話番号☎②6763
▷月・水・金曜日 午前9時～午後4時

『マルチ商法的勧誘』に注意

他人に商品を紹介し、購入につながればマージンが得られると誘う『マルチ商法的勧誘』の相談が寄せられています。『友人にマルチ商法で誘われて、化粧品や健康食品を購入したが解約したい』などの相談です。親しい人からの紹介や勧誘でも、きっぱりと断りましょう。また、自分が友人を勧誘すると、その人との関係を壊すこととなります。困ったときは、消費生活センターに相談してください。

- 問合せ 市消費生活センター (☎②2136)

家庭で
できる!

今月の省エネと 地球温暖化対策



食器を洗うときは低温に設定しましょう

1月に入り、寒さも一段と厳しくなってきました。こんな季節に食器洗いをするときに助かるのが、ガス給湯器です。設定温度を40℃から38℃に下げ、食器を洗うと、年間で、**ガス 8.74 m³ (約1,490円)**の節約、**二酸化炭素 19.9kg**の削減(※)になります。

(※) 1日2回、水温20℃の水道水を1回当たり65ℓ使用した場合

●問合せ先

環境課生活環境係 (☎②2144)

■参考：資源エネルギー庁のホームページ <http://www.enecho.meti.go.jp/>

広告

いいものを造り続けて135年

おぶつだんのしらかわは、お客様の真心を適確に受け止め、日本の伝統技術と白川独自の技術をアレンジし、お客様のイメージを形にするお手伝いを致します。

伊万里 **うるし工房** **しらかわ**
おぶつだんの

伊万里市新天町462-6

お申し込み
お問い合わせ

☎(0955)23-5345



第14回 輝け!イマリフェスタ イルミネーション点灯式

12月3日、伊万里駅前広場で『輝け!イマリフェスタ』イルミネーション点灯式が開催されました。これは、伊万里商工会議所青年部が、道行く人に寒い冬を少しでも暖かく感じてもらおうと実施したものです。街路樹に約10万個のLED電球が一斉に点灯すると、辺りは幻想的な光景に。訪れた観客から歓声が沸き上がり、美しく彩られた景色を思い思いにスマートフォンやカメラに収めていました。また、合唱やダンス、太鼓・バンド演奏などが披露され、多くの人でにぎわいました。イルミネーションは、2月28日まで楽しむことができます。



カウントダウンで一斉に点灯ボタンを押す子どもたち



イルミネーションで明るく彩られた市街地



美しく彩られたMR側ロータリー内のくすのき



美しい歌声を響かせた伊万里小学校コーラス部



威勢がいい演奏で会場を魅了した伊万里子ども太鼓の会



輝く笑顔でダンスを披露した『リミックス』



演奏と動きが見事に決まった伊万里カトリック幼稚園のマーチング



迫力あるダンスで会場を盛り上げた『フリーダム』



人のうごき

平成28年12月1日現在
 ●人口 56,037人 (+9)
 男 26,920人 (+11)
 女 29,117人 (-2)
 ●世帯 23,025世帯 (+38)
 () は前月比

広報 伊万里 2017-1

- 発行日/平成29年1月1日
- 発行編集/伊万里市情報広報課広報係
(0955)23-4313 (直通)
- 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1
- 伊万里市のホームページ
<http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷/株式会社三光

取り追うまつりを取材したときのこと。「御供さん」を持った氏子から声をかけられ、誰かと思いついてみると、中学校卒業以来20年近く会っていない同級生でした。長い年月が経っているにも関わらず私と気づき、声をかけてくれたことをとてもうれしく思いました。大人になつてからの再会は、当時とは少し違う、不思議な仲間意識のようなものを感じます。それは単に懐かしいと思う気持ちだけではありません。大げさかもしれませんが、再会をきっかけとして卒業後にそれぞれが歩んできた人生を振り返り、近況を語り合わずとも「社会をよくぞここまで生き延びた」と互いにたたえあうような気持ちです。新しい年が始まりました。困難に立ち向かわなくてはならない時もあると思いますが、社会にはふだん会っていない人もたくさんいるので、忘れないでいきたいと思います。(祐)

編集室から